

平成 31 年（令和元年）度 学校関係者評価委員会 議事録（1 回目）

実施日：令和元年 6 月 18 日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティール専門学校 校長）
川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）
近藤文峰（第一学院高等学校 教諭）
山田資喜（愛知県美容業生活衛生同業組合 常務理事）
廣瀬麻美（理容ヒロセ・平成 26 年度卒業生）
藤原さやか（平成 28 年度卒業生）
尾関之一（ベリーバイヘアースポットオゼキ経営）
中川信子（名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長）
中川安行（専門学校 日産愛知自動車大学校 学務部 課長代理）
順不同

欠席者：委員 近藤文峰（第一学院高等学校 名古屋キャンパス 副キャンパス）
令和元年 6 月 13 日（木）にアリアーレビューティール専門学校にて
意見等を聴取し会議に報告する。

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティール専門学校 事務主任）
山口 孝（アリアーレビューティール専門学校 広報主任）
高橋秀典（アリアーレビューティール専門学校 美容科チーフ）

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）第 11 回全国理容美容学生技術大会 東海地区大会の告知
- （4）平成 30 年度 学園広報誌の説明
- （5）通信課程「短期集中コース」の説明
- （6）平成 30 年度自己評価の報告
- （7）平成 30 年度学校関係者評価委員による評価まとめ
- （8）その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
（詳細は後記のとおり）

(8) 閉会

終わりに、校長から令和元年度は第2回目を令和元年12月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○山田資喜 委員

評価項目(7)に関して、定員の充足率ですが、中部美容専門学校でも昼間課程の定員数変更(減)、夜間衛生専門課程、夜間通信課程及び夜間理容修得者課程の廃止を決定しました。今年4月の昼間課程入学者数は名古屋校、岡崎校合わせて260名ぐらい。中部の学びの特徴である「トータルスタディ」制度を求めているのはこのぐらいの人数ではないかという考えに至り、定員を320名→と280名に変更をしました。夜間課程の廃止については、入学者が1人か2人であり、人件費もそうだが夜間のため警備代もかかり廃止にしました。定員減も廃止も戦略的な変更です。(3)の教育活動 職員の能力開発は現在も富山県理容美容専門学校へ1年間の研修派遣を行っています。新しく採用した職員を派遣し、教員としての実務経験をさせている。他校との連携(ミスパリと愛知美容)も富山県理容美容専門学校との職員研修が中心で募集や教育面での産学連携等はない。

(学校側)：実入学者数が、入学定員を大幅に下回っている現状に対し、これを改善する取り組みを具体的に行うことができず、恥ずかしい限りです。2年前の第三者評価でも抜本的な改革を求められ、抜本的とは具体的には定員を見直せという事だと思っております。教育活動では、評価表にも記載しましたが、専修学校教職員資質能力プログラムの開発に参画し、研修のための研修にならないよう、生産性の高い教育を進める努力をしています。産学連携に関しては、昨年、本日出席いただいております名古屋ウェディング&フラワービューティ学院 中川先生より2名通信課程へ入学をいただきました。お互いの強みを活かし学生募集の一助になればと思っております。

○廣瀬麻美 委員

(4)の学修成果のところ、卒業生調査をし、教育成果の現状と課題を明らかにしているとの事ですが、在校生の満足度を上げるためにどのような事に務めているのか、分析をして去年よりどうなのか、課題はわかっているけどどうなのか

等その辺りの報告が聞きたいと思います。教職員がもっとアンケート結果に対し、関心を持たないといけないのではないかと。

(学校側)：日々の教育活動の見直し、改善していくために、毎年2月に卒業直近の2年生及び4月入学の新1年生にアンケートを実施しております。今回初めてアンケート結果をホームページ上で公開しました。入学者調査では、入学者の特徴・伝わった「学校の価値」・入学までのプロセス・競合状況等募集広報の現状と課題が明らかになり、また卒業生調査では、学校評価・就職や進路の充実・教育内容の評価・身についた経験等教育成果の現状と課題が明らかになると思っております。ただ、委員のおっしゃる通り、アンケートをやっただけで何の歯止めもかかっていない状況であることは否めないし、分析らしい分析もできていないと思います。次回の評価委員会には報告できるようにいたします。

○中川信子 委員

評価項目(8)に関して、本年10月の消費税率改正に伴う具体的な対応ですが、弊社では、今年は学費を上げません。来年は上げるかもしれません。評価項目(11)に関して、外国人インバウンド対策は何かしていますか？先ほど愛知美容専門学校とミスパリ・エステティックの連携の話ができましたが、国家資格で貴校と連携しているぐらいしかありません。

(学校側)：消費税対策としては、以前10%対応として教材費等の見直しを行いましたが、今後の費用負担増に際し、具体的な対応が明確になっていないところがアリアーレでもあります。インバウンド対策としては、全国理容生活衛生同業組合を中心にサロン営業に関しては業界の動きがありますが、理美容学校間では就労問題もあり、あまり動きを感じません。しかし、弊社では永住権のある方や帰国を条件に受け入れており、毎年のように問い合わせをいただいております。その点では、他の理美容学校に比べて、卒業証書の扱いや、入管対応等外国人受け入れ態勢は進んでいると思います。

○藤原さやか 委員

評価項目(7) 学生の受け入れ募集についてですが、通信課程の短期の見方がよくわかりません。

(学校側)：通信課程「短期集中コース」(一般)というのは、一定期間集中(毎日)してスクーリングを実施するという意味で通常の毎週月曜日・火曜日の定期的なスクーリングとは異なります。自動車で言えば、合宿免許に近いかもしれません。た

だそれで在籍期間が短くなるわけでもなく同じ3年間です。高校等在学中の方が、夏休み・冬休み等に一定期間毎日通っています。

○尾関之一 委員

理容・美容は手わざのできる仕事なので、高校等にもっとアピールしていきたいし、学校側でもできないだろうか。

(学校側)：高校との連携に関しては、こちら側がやりたいと言っても相手方にとってアリアーレに対しメリットがないつながらない。有料で教育媒体業者に入ってもらいスポット的に魅力を伝えているに留まっている。社会貢献・地域貢献の一環としての動きは昨年以上に今期も取り組んではいるが、高校生に対しとなると難しい。尾関先生のサロンでお勤めの須田くんのように、サロンのお客さまだった方が魅力を感じ、この世界に入ってくれるのは本当に素晴らしいことだと思います。サロンのお客さまの中に、この業界を目指す方がいらっしゃいます。それぞれの立場で魅力作りをしていきたいと思っています。

○中川安行 委員

評価項目(4) 学生成果に関し、退学者数が非常に少なく、何らかの取組をしているのですか？ 弊校(日産自動車)では、5%~8%ぐらいあり対策を検討中です。また、国家試験(二級自動車整備士、一級自動車整備士、車体整備士)の合格が最終目標です。評価項目(5) 学生支援では、高等教育修学支援制度への準備をしています。

(学校側)：アリアーレでも一時期退学率が高く問題になりました。以降、保護者の方向けに教育アンケートを実施したり、学校開放日を設けたり、現在は年2回、3者面談をしております。弊校も日産様同様、国家試験の合格率が気になるころなのですが、貴校の合格率は長期間にわたって(2004年~2016年)高く、それを広報できているのは素晴らしい事だと思っております。日々の授業の取り組みから意識してみえるのだと思います。ぜひアドバイスをいただけたらと思います。今年の学校祭ではお世話になりました。ありがとうございました。

○川野公稔 委員

評価項目(8)に関して、毎回同じような文面を拝見するが、貴校は意思決定が極めて遅い。もっと役員間の役割分担等専決規定を作って物事を適切に判断していただきたい。消費税率10%への対応についても、授業料を上げるのか、指定校

の免除額を減免するのか？部門別で決算書類を見ていくと、実感としてわかると思いますが、通信課程のプラスで昼間課程のマイナスを埋めている。どうしていくつもののか？今の全体像を見て、どうしていくつもののか見解をお願いしたい。

(学校側)：判断力、決定力の無さは申し訳なく、いくら情報やアドバイスをいただいてもこれでは意味がありません。昼間課程美容科の減少が著しく、今の通信頼みで良いとは思っておりません。3月の国家試験の結果はよかったので広報材料にしております。また昨年度から始まりました紹介者制度を利用され、入学された方が何名かおります。役員間でも教務、財務、広報で担当者が決まり教務に関しましては来月の学生技術大会に向け、役員自ら指導に入っております。

○近藤文峰 委員 (令和元年 6月 13日)

評価項目(3)教育活動に関して、現在第一学院では進学に力を入れており(約8割は進学)就職は1割ぐらいです。高校2年生の保護者向けに進学説明会を開催するのですが結構参加されます。生徒の質も変わり、以前は低位校の中退者が多かったですが、今は目的を持った弊校のカリキュラムを見て入学する生徒も目立つ。通信生高校なので、ある意味偏見で荒れているイメージをお持ちの入学検討の保護者がいますが、弊校の学則であるヘアカラー禁止、絶対制服着用、スマホ厳禁等生活指導はしっかりしており、それをご覧になられると「普通の学校ですね。」と言われる。その成果として退学率は減りました。得意・不得意は仕方ないと思いますが、ルールを守らないのは許しません。評価項目(5)学生支援 連携面ですが、新潟産業大学とWeb学習の連携をしています。だからと言って新潟にたくさん進学している訳ではありませんが。

(学校側)：生徒指導に関しては、マナーの授業やインターンで営業経験等させているが、校内での規律や外部先での行動についてはまだまだ甘さがあると認識しています。厳しくないと結果は出ないと思います。連携に関しては他校や外部企業に目を奪われがちですが、今年度、同窓会を立ち上げ卒業生との連携を強化していく準備が整いました。PTA、後援会、同窓会からアリアーレの魅力を伝えていきたいと思えます。

以上
記録：山口

平成 30 年度 学校関係者評価委員会 議事録（2 回目）

実施日：平成 30 年 12 月 10 日（月）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティール専門学校 校長）
中川信子（名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 校長）
山田資喜（愛知県美容業生活衛生同業組合 常務理事）
廣瀬麻美（理容ヒロセ・平成 26 年度卒業生）
藤原さやか（平成 28 年度卒業生）
市川千恵子（PTA 役員）
尾関之一（ベリーバイヘアースポットオゼキ経営）

順不同

欠席者：委員 福澤寿和（愛知県理容生活衛生同業組合 理事長）
川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）
平成 30 年 12 月 18 日（火）にアリアーレビューティール専門学校にて
意見等を聴取する。
近藤文峰（第一学院高等学校 教諭）
平成 30 年 12 月 18 日（火）にアリアーレビューティール専門学校にて
意見等を聴取する。

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティール専門学校 事務主任）
山口 孝（アリアーレビューティール専門学校 広報主任）
福本稔巳（アリアーレビューティール専門学校 教務主任）

委員会次第

（1）開会

- (2) 学校長挨拶
- (3) 平成 30 年度冬期 学園広報誌の説明
- (4) 高等教育無償化に関する意見聴取
- (5) 卒業生管理に関する意見聴取
- (6) 前回会議からのフィードバック
- (7) その他意見交換

各評価委員から次期広報誌等に記載されている直近の学園活動に対する質疑
(詳細は後記のとおり)

- (9) 閉会

終わりに校長から各委員へ貴重なご意見をいただいたことへのお礼があり、また本会議において 2 年間の委員の任期が満了になることの報告がある。なお改選に際し再任されることがある旨の説明及びご理解・ご協力を賜る。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○山田資喜 委員

学園広報誌の中のインターンについてですが、実務実習制度のことについては初めて知りました。インターンは中部美容専門学校でも行っていますが、中部卒の生徒でも入社したら 1 回やり直し(学生時のインターン研修を実際の就職先の方針等に改める)の状態であると思います。学生時のインターンは就職後の成果に表れているのかどうか。インターンもそうだが学校全体の授業時間数が中部美容は 2200 時間あり、それを「売り・強み」として学校広報をしているが、サロンが 2200 時間も求めているのかどうか検証しないといけないと思っています。卒業生管理の問題ですが、中部美容でも先般の理事会で議題となり現在精査方針について検討中です。卒業生管理から学生紹介にもつながると考えています。

(学校側) : インターンについてはこの職業実践専門課程の主旨である企業連携の最たるものとして捉えており、県内理美容学校において最大時間数を確保する予定です。学校側が希望するインターン教育の中身をもっとしっかりサロン様に伝え、また

内容の精査は必要かと思っております。実際サロン様によってバラつきが生じております。山田先生の言う自校の「売り」が本当に売れるものなのかの不安、悩みは弊社でもまったく同じであり、どこに何人のニーズがあるのかまでマーケティングをしっかりとしないとタダ作っただけ・整備しただけ、作ること・やることだけが目的になって結果はついてこない。そこまでの時間と労力だけが無駄になってしまいます。卒業生管理も専門学校全体として言えることですが大学・短大に比べて友人・知人から学校を知ることが広報媒体から知るよりも比率が高い。特に弊校は入学生アンケートにおいて高いので来年の70周年記念を迎えるにあたり整備・土台作りに着手しております。

○廣瀬麻美 委員

インターンについてですが、在校時にめんどうくさいという仲間もいましたが、行きたくない学生に対し、インターンの大切さを伝えてほしいと思います。

(学校側)：内にもっている方が楽ですが、就職後の早期の離職率の低減等を考えると必要であると思います。離職率0%を目指す上ではアリアーレ方式の(実務教育)インターンについては今まで以上に充実を図っていきます。大切さについては十分に学生に落とし込みをしていきます。このインターン制度は管理理美容師がおり、また理美容師1人につき学生が2人までと厳格に決められています。

○藤原さやか 委員

学園新聞(案)を見て、卒業して2年しかたないが、こんなに色々と学園行事等が改善されているのかと感心します。少子化の中で学生募集は苦心されていると思いますが、希望者全員を入学させているのですか？

(学校側)：アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)は明確にあるのですが、入学試験に対する姿勢・考え方が個々の面接官にはあると思うのですが、学園全体として持っているとはまでははっきり言えず、我々の欠けている部分であります。各々の面接官がそれぞれ直接的にせよ間接的にせよ「どんな理美容師になりたいのか」「なぜ理美容師を目指したんですか」の視点では質問をしていると思います。受験生の個性や能力、将来の目標等から「意欲、情熱と熱意」を評価し、多面的に適性を見極めようとするなら、学校職員だけでなく面接メンバーもサロンオーナー様にも入っていただけるような多様性を持ちたいと思います。

○尾関之一 委員

通信生を現在4名アリアーレに送っていますが、週4日制を進める中で月曜日

が昼間生選択授業で通信生スクーリングが主たる内容となると、サロン営業中（休みは火曜日中心）に従業員（生徒）が職場を抜けられると困ります。国家試験（通信）の高い合格率ですが、お世話になっているウチの従業員（生徒）を見ていると、小数点や分数等小学校の算数程度がわからず仕事を教えていく上で不安になる。学校の先生はよく国家試験合格まで持っていけるなど感心します。インターンですが営業ができる実務実習制度については知りませんでした。ただ実際にお客様に入らせることができるのか、特殊なメニューを用意する必要があるのか、そこまでインターンで見てやらないとダメなのか、今の学生は優遇されすぎのような感じがします。

（学校側）：通信スクーリングは全て月曜日になる訳ではありません。理容科と美容科の曜日を分けることがありますし、当然火曜日の日もあつたりします。サロン休日の第2・第3月曜日はスクーリング日になってくると思います。インターンも時代に即した形に変えていかないといけないのですが、旧試験・免許制度ではご存じのように1年学校+1年インターンで国家試験でした。旧来のインターンの充実を図りたく、ただ当時のインターンはそこに就職ありきが前提としてありました。今はインターン先と就職先は必ずしも一致せず、そこにサロン様には負担をおかけしている面があると思います。

○市川利恵子 委員

娘が2年生美容科でインターンの話は聞いていますが、本人曰く「内定が決まっても違うサロンにインターンに行きたい」と言っていました。親としては私が美容師ではないので、インターンの充実はありがたいと思います。

（学校側）：内定決定後のインターン先に関しては、内定先限定にしています。相手方に対する信義則の面もありますので。そして前回ですと祝金と土曜でしたので繁忙の雰囲気も見てくるよう伝えていきます。美容科学生は特にご実家がサロンの比率が低いのでインターンの充実や方針についてご理解いただけるよう努力しております。

○中川信子 委員

インターンについてですが、競合校において有償でインターンを行っており、現在自校でもインターンのあり方については非常にアンテナを張っているとこです。年3回（卒業までに計6回）行かれているということですが、3回とも行き先がかわるのですか？サロン側はぜひ来てくださいという感覚なのですか？様々な工夫改善及び改善計画の中で来年の学生募集状況はどうです

か？貴校の少人数制をもっと打ち出されるといいと思いますが、どのようにお考えですか？（先ほどお話しができました）卒業生の管理ですが自校ではなかなか更新ができていません。

（学校側）：インターン中の実態が労働基準法上の「労働者」にあたる場合は当然有償になると思います。先般、弊社でもサロン経営者の集まりである後援会様に有償化の打診をしてみました。他校の例を上げて提案しましたが、有償である以上はお互いがきちんとした形で「行く」「迎える」にしないと成り立たない。一度発議をしたことはよかったと思っています。現状はまだまだサロンによって意識がバラバラで学生の出来もバラバラ。お客さまの髪の天頂部を切った学生が入れば、ドブ掃除ばかりの者もありました。実務実習は「そのサロンの技術者が先生になりますよ。」ということなので、学校・サロン側両方の意識改革がまだ必要と思っています。今年度のインターン先は全部ちがうところでした。少人数制を打ち出すご意見ですが、少人数制だから退学者が少ないとか合格率が高い等前向きな裏付けがないといけないと思っています。募集の本質は学校を表面的によく見せる事ではなく、「募集」と「教育」が一体となり、進学検討者に自校の「価値」を正しく伝えることこそが大切だと思いますので、実際にやっている、できていることを中心に載せています。来年4月の入学予定者は現在、理容科13名前後、美容科10名前後です。

欠席者後日ご意見等

○川野公稔 委員

インターンで学生に営業技術をさせるならお客さまに対する保険・保障体制をきちんとしてから行ったらどうか。インターン先に行かせる前に教職員だけでなくサロンオーナーにも技術チェックをしてもらうようにした方がよいのではないかと。消費税増税に際し、学費等値上げを検討する場合は建物（施設・設備）も含め広告であり学生に還元する視点で進めるとよいのではないかと思います。

○近藤文峰 委員

高等教育無償化についてですが、通信制高校は母子家庭が多く、対象校であるかどうかの判断基準になるかもしれません。自校が現在提携している犬山の動物学校や名古屋鶴舞の美容学校は第一学院の通学生よりも通信主体のスクーリング生でメインが専門学校で従たるが通信高校だと思います。併設の渡辺高等学院（芸能コース）はオーディションで特待生（学費免除）で入学し中退した場合、正規

の学費を納めてから退学を認める制度です。(払ってやめる。)新しい大学入試制度に向けた学力3要素(eポートフォリオ)の話は少しずつ校内でも議題になっています。

以上
記録：山口